

朝食時のごみの話し



東雲町の主婦より

お父さんは会社員で、年齢41才。趣味はスポーツ全般。高校一年の長男はサッカー部に所属。四年のため毎日バタバタしています。中学一年生の次男は釣りが趣味。丑年のためか、兄とは違っていつものんきにマイベースの散らかし屋さんが3人の4人家族。毎日代り映えのしない朝が始まりました。食べる、汚す、家事手伝いなしの困った息子と、最近地球の温暖化や汚染問題など、地球環境問題に関心をもち、リサイクルやごみの分別収集の大切さを意識しました。そして、毎日家事に追われる私達家族の朝食時のごみの話しを聞いてください。

「あー知ってるよ、それがどうした」「直接関係があるのかわらないけど、ごみを無くすために僕の高校内の自動販売機が無くなるうとしてるんだ。僕達生徒会では、とっても必要な自動販売機をなくさないように、先生と協議しているところなんだ。」

「ふーん。お父さんはおまえの学校内のことはよく分らないけど、前に広報するもいでカナダの人の話

が書かれていたのを見た。カナダでは街をきれいにするために、必要な個所にしか自動販売機を置かないそうだ。それは、自分達の街をいつもきれいに保つためだと書いてあったな。日本は至る所に自動販売機があるため、それが原因でごみも散らかっているそうだ。先生達もみんなが必要とする自動販売機を、理由もなく排除するのではないだろう。ごみとなる空き缶などの始末が悪いため、やむを得ず排除することになったのではないのか。」

「そうそう、近所のお母さん達も言っていたわ。川のそばや通学路なんかによく空き缶やアイスなどのごみが散らかっているそうよ。」

「見えない草むらなんかによく捨ててあるって言ってたわ。」

「それは僕達とは限らないよ。」

「そうよね。それと新聞の苦情欄で見ただけど、犬の糞をそのまま残していく人が多いんだって。袋はもっているんだけど拾わないんだって。それに犬を放して散歩させている人がいて、いきなり犬が飛びついてきて、びっくりすることもしばしばあるんだって。」

「飼い主には慣れているからいいけど、私達には大きな迷惑だった

ら分けてもらいますよ。」

「生ごみはどうするの？新聞はどこに置く？電池は危険ごみになるの？ペットボトルはふたをとって、別にしてよ・・・と朝食時にごみの話しで明けた一日でしたが、何んとなくさわやかな気分になったのが不思議でした。ただ不安なのは、朝話したことを忘れずに帰って来るかということです。」

現代はビニールやプラスチックなどのバック詰めが多いので、必要でない数、または量を買わなければならぬようになっていて、それを包むビニール袋などの過剰包装もごみの原因となっている。「私も小さいころはよく買物に行かされたよ。瓶を持っていくのがいやでした。昔は子どものお菓子も秤売りで、袋は新聞紙が使われていて、その新聞紙を貯めておいて火種に使ったりしていたわ。今は本当に過剰な包装がされているため、ごみの量も自然と多くなっているわね。」

「よ」しつ。10月から市内一斉に分別収集が始まる。家の中でもごみの分別システムをつくってみんなを取り組もう。守らないやつは小遣いを減らすことにする。」

「お父さんもね。」「はいっ。」

「それに、もう私がやっていますよ。みんな無関心だったから気付かなかったと思うけど、こども達の学校活動費やクラブ活動費、町内会の廃品回収に役立つように、ごみをきちつと分けていますよ。」

「それはお父さんだって知っているし、毎年手伝っているじゃないか。」

「僕達も一緒に手伝うよ。家の中

YES, WE DO
RECYCLE

リサイクルで省資源化



photograph by hatanaka

ごみの分別収集
10・1 スタート

ひろりの心がけで
美しくまじりくりを
錦町の主婦より

広報するもいや町内会の回覧などを見ると、そのシステムの内容は充分理解できますが、町全体で見ると、まだまだ住民の意識がない気がします。

平成4年度からモデル地区を設定し、町内会ぐるみで地区の清掃や分別収集、花いっぱい運動などきれいなまちづくりがすすめられていますが、残念なことに道路や野球場、釣場、河川敷など、散乱するごみはなかなか減っていないような気がします。やはり留萌市民ひとり一人の心がけが必要なんだなと思います。

留萌市では10月から市内一斉にごみの分別収集がやつとスタートするそうです。約5年間かけてモデル地区を設定し、各町内会単位ですすめてきたごみの分別収集。私たちが頑張らないと、本当にむだな税金がかかってしまいます。みんながごみを捨てずにリサイクルすれば、きれいな町になるし、税金を他のことにつかえると思います。

留萌の美しいまちづくりをいつまでも大切にしたいです。

「僕も中学校の友達とよく釣りにいくけど、釣り糸やビニール袋、弁当箱がよく捨ててあるよ。それに空き缶や餌箱が海に捨てられている。」

なんか釣った魚も汚く見えてなんかいやだな。釣りは時間がかかるから食べた飲み飲んだりするけど、友達同士でごみは必ず持って帰ることにしてる。」

それは良いことだな。お父さんの職場では紙、空き缶、再生紙、新聞、ダンボール、電池などをきちつと分別するようになっている。それと、昔日本はリサイクルの先進国だったそう。おばあちゃんから昔の話を聞くと、しょう油や油などは瓶を持っていった必要分だけもってきた。味噌、米も入れ物を持って行って秤売りで買ったそう。ごはんの残りは土に埋めたり、犬や猫の餌にしてた。冷蔵庫があまり普及していなかったこともあったが、必要な量以外は買わなかったそう。だから、むだな物がなかったし、昔はごみと言うものがなかったのかも知れないな。」

今はハウス物が多いため季節感がなくなってきたが、昔はその季節ごとの味が楽しめたもんだ。

「あー知ってるよ、それがどうした」「直接関係があるのかわらないけど、ごみを無くすために僕の高校内の自動販売機が無くなるうとしてるんだ。僕達生徒会では、とっても必要な自動販売機をなくさないように、先生と協議しているところなんだ。」

「ふーん。お父さんはおまえの学校内のことはよく分らないけど、前に広報するもいでカナダの人の話

が書かれていたのを見た。カナダでは街をきれいにするために、必要な個所にしか自動販売機を置かないそうだ。それは、自分達の街をいつもきれいに保つためだと書いてあったな。日本は至る所に自動販売機があるため、それが原因でごみも散らかっているそうだ。先生達もみんなが必要とする自動販売機を、理由もなく排除するのではないだろう。ごみとなる空き缶などの始末が悪いため、やむを得ず排除することになったのではないのか。」

「そうそう、近所のお母さん達も言っていたわ。川のそばや通学路なんかによく空き缶やアイスなどのごみが散らかっているそうよ。」

「見えない草むらなんかによく捨ててあるって言ってたわ。」

「それは僕達とは限らないよ。」

「そうよね。それと新聞の苦情欄で見ただけど、犬の糞をそのまま残していく人が多いんだって。袋はもっているんだけど拾わないんだって。それに犬を放して散歩させている人がいて、いきなり犬が飛びついてきて、びっくりすることもしばしばあるんだって。」

「飼い主には慣れているからいいけど、私達には大きな迷惑だった

ら分けてもらいますよ。」

「生ごみはどうするの？新聞はどこに置く？電池は危険ごみになるの？ペットボトルはふたをとって、別にしてよ・・・と朝食時にごみの話しで明けた一日でしたが、何んとなくさわやかな気分になったのが不思議でした。ただ不安なのは、朝話したことを忘れずに帰って来るかということです。」

「あー時間がいいわよ。今食べ

たものや部屋のゴミを今日か

ら分けてもらいますよ。」

「生ごみはどうするの？新聞はどこに置く？電池は危険ごみになるの？ペットボトルはふたをとって、別にしてよ・・・と朝食時にごみの話しで明けた一日でしたが、何んとなくさわやかな気分になったのが不思議でした。ただ不安なのは、朝話したことを忘れずに帰って来るかということです。」

「あー時間がいいわよ。今食べ

たものや部屋のゴミを今日か

ら分けてもらいますよ。」